



*東北工業大学+宮城大学+秋田公立美術大学「農山漁村共同アトリエ群による産業の再構築と多彩な生活景の醸成」JST-RISTEX [多世代共創領域] 研究開発プロジェクト 2016-2019

2019.8.19 (月) - 20 (火) 入場無料

@東北工業大学 一番町ロビー 1階ギャラリー

コアトリエ オープンラボ

3大学の共同研究*(通称『この地に技あり!プロジェクト』)にてフィールド調査を重ね、知遇を得た東北各地の多様なアトリエ。そこにはどんな課題や可能性があるのでしょうか。実践者を招致して、これからの生業や景観について話し合う「課題解決ワークショップ」を公開座談会のかたちで行います。ここでの議論は、以下の21日のシンポジウムにて情報共有し、ともに考えます。

2019.8.21 (水) 入場無料

@東北工業大学 一番町ロビー 2階ホール

なりわいけい

生業景デザイン研究所 開設記念シンポジウム

近年 SDGs (持続可能な開発目標) が社会的な命題とされています。経済が自然を支配するのではなく、地域の資源や環境を活かして価値を生み出す「地技」と、これを活かした「生業」を継承・発展させることが重要です。そこで、上記「この地に技あり!プロジェクト*」の後継として、そうした生業がおりなす地域景観を「生業景」と名づけ、そのアーキテクチャ(形成構造や育成手法)を考える「生業景デザイン研究所」を開設しました。この開設記念シンポジウムでは、大正昭和に評価された「民藝」に再注目し、現代の生活・社会・文化をみつめ直す哲学者の鞍田崇さん、独自のまなざしで世界をとらえ、近年では古建築にも関心を寄せる写真家の田村尚子さんをお迎えし、示唆を頂きます。「地技」は誰がどう担うのか。新しい共創のあり方はないか。美しい「生業景」はどう育てられるのか。価値創造、文化継承、環境保全について、横断的に考えます。

この地から醸成する 東北の生業景

※一般参加の方については事前申込み頂いた方を優先いたします。

セッション1: 8/19 (月) 13:00-15:00

みやぎ蚕糸コアトリエの展開可能性 (一般参加 15名まで)

セッション2: 8/19 (月) 15:30-17:30

秋田・しょつつる研究会の歩みとこれから (一般参加 20名まで)

セッション3: 8/20 (火) 10:00-12:00

青森・北の工芸ネットワーク (一般参加 20名まで)

セッション4: 8/20 (火) 13:00-15:00

みやぎの「景」保全と建築技術者の共創 (一般参加 15名まで)

セッション5: 8/20 (火) 15:30-17:30

岩手・鉄のストーブがつくる環境社会 (一般参加 20名まで)

※一般参加の方については事前申込み頂いた方を優先いたします。

趣旨説明 13:05-13:25

生業景デザイン研究所の方向 大沼正寛 (当研究所所長)

話題提供 13:30-13:50

評価眼を養う「地域資源クエスト」 佐々木秀之 (宮城大学)

基調講演 14:00-15:00

東北の民藝と「地技びと」の横顔

鞍田崇 (哲学者・明治大学) ※1 + 田村尚子 (写真家) ※2

研究報告 15:10-15:50

「地技カタログ」と「オープンラボ」から見えてきたこと

菅原香織 (秋田公立美術大学) + 宮本愛 (東北工業大学)

車座談義 15:50-16:50

地技と生業景 その可能性と課題

鞍田崇 + 田村尚子 + 大和田順子 (JST 領域アドバイザー) +
研究所メンバー/進行 = 田澤紘子 (仙台市市民文化事業団)

※1 哲学者・明治大学准教授。京都大学大学院修了。博士 (人間・環境学)。総合地球環境学研究所 (地球研) を経て現職。NHK「民藝のレッスン」にて解説者として出演。

※2 講演者2: 写真家。大徳寺通仙院/庭玉軒のこけら葺屋根修復作業を撮り下ろした写真集など作品多数。



会場: 東北工業大学 一番町ロビー
〒980-0811 仙台市青葉区一番町 1-3-1 TMビル

